

医師の診断を受け、保護者が記入する登園届が必要な感染症

病気の名前	原因と潜伏期	感染経路	主な症状	登園停止期間	備 考
マイコプラズマ肺炎	ニューモニア (ウイルスでも菌でもない) 14日～21日	飛沫感染	発熱・頭痛・咳は徐々に激しくなり、しつこい咳が 3～4週間続く レントゲンや血液検査で診断できる、悪化すると肺炎になる	発熱や激しい咳が改善し、全身状態が良いこと	中耳炎・鼓膜炎 発疹を伴うこともある
手足口病	ウイルス 3日～6日	飛沫感染 糞口（経口）感染 接触感染	水疱性の発疹が手足（特に手のひらや指の間） 口の周り、口腔内、肛門周囲や足の裏にできる 口内炎がひどいと食事がとれなくなる 熱は軽度である	解熱後1日以上が経過し。普段の食事が できる	数種類のウイルスがあるため違う 型のウイルスなら複数回かかる
伝染性紅斑 (りんご病)	ウイルス 4日～14日	飛沫感染	軽い風邪症状の後に頬が赤くなったり、手足にレース 赤っぽい発疹が見られる 頬の赤みは、紫外線に当たると増強するので紫外線予防 が必要	頬が赤くなったところにはすでに感染力が消失 しているので全身状態がよいこと	一度かかったら 2回目はない
伝染性膿痂疹 (とびひ)	菌 2日～10日	接触感染	湿疹や虫刺されを掻いたところに細菌感染をおこし、 水疱やただれを形成する かゆみが強く、掻くことで病巣部が広がっていく	化膿しているところがジュクジュクしていると 接触しないよう登園は控える 必ず抗生物質による治療が必要 乾燥していること	何度でもかかる
感染症胃腸炎 (ロタウイルス) (ノロウイルス)	ウイルス ロタウイルス 1日～3日 ノロウイルス 12時間～48時間	飛沫、経口（糞口）感染 接触感染 食品媒介感染	突然の嘔吐・腹痛・下痢・発熱 冬に流行するロタウイルスでは、便が白っぽくなる	嘔吐・下痢等の症状が始まり、普段の食事が できること	吐物や便から感染力が強い ため 嘔吐物には適切な処理方法が 重要 脱水に注意する
ヘルパンギーナ	ウイルス 3日～6日	飛沫・接触感染 糞口（経口）感染	突然の高熱・のどの痛み・のどの奥に水疱や潰瘍がで のどの痛みで飲食ができないことがある	発熱がなく（解熱後1日以上経過し） 普段の食事ができること	何度でもかかる
RSウイルス感染症	ウイルス 4日～6日	飛沫感染 接触感染	発熱・鼻汁・咳・喘鳴（ヒューヒュー）、ゼーゼーな の呼吸音）呼吸困難 乳児ではひどくなりやすく、呼吸困難が酷ければ入院 しなければならない	呼吸器症状が改善し、全身状態が良いこと （医師の診断に従う）	何度でもかかる
突発性発疹	ウイルス 約 10日	飛沫、経口感染 接触感染	38℃以上の高熱が3日～4日続いた後、解熱とともに 体幹から徐々に四肢に広がる発疹が出現、生まれて 初めての高熱であることが多い 熱性けいれんを起こすこともある	解熱後1日以上が経過し、機嫌がよく 全身状態が良いこと 終了するまで	1度かかれば、ほぼ2回目はないが まれに2回かかる子どももいる
頭ジラミ	頭ジラミ 10日～14日	接触感染 (頭皮から頭髮、衣服、帽子 やくし、寝具を介して感染)	多くが無症状だが、髪（特に耳の後ろ側）に卵を産み つけられる、産卵から成虫孵化まで10日～14日 かかる 吸血部分にかゆみを訴えることがある	駆除を開始していること	一定期間の駆除を完了しないと 増え続けるため、最後まで駆除を 続けること
伝染性軟属腫 (水いぼ)	ウイルス 2～7週間	接触感染	芯がふくまれる盛り上がった丘疹 (いぼの白い内容物中にウイルスがいる) 自然治癒までは、半年ほどかかる 皮膚が乾燥すると広がりやすいため、しっかり保湿する こと	水いぼの部位は、服などで覆い。接触しないよ 数が増えすぎると皮膚科治療 が必要 プール時は接触しないよう必ず 覆うこと	